

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(6月)

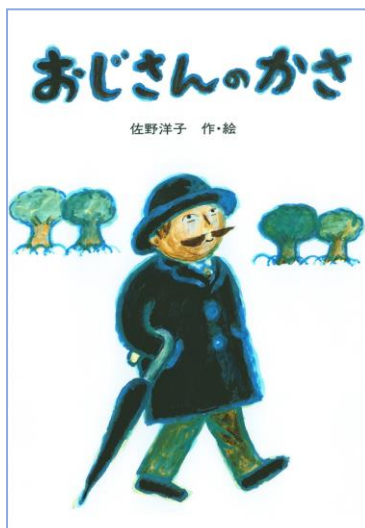
<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎
矢祭町子ども「読書の街」づくり推進委員会委員長



『おじさんのかさ』

作・絵：佐野洋子（講談社 刊）
物語を楽しむ系の絵本、幼児・低学年向け



今年も、6月に入り梅雨の季節になりました。

社会生活の中で雨とのふれあいは、なくてはならないものと考えております。

環境・経済・文化・芸術等も雨と関わりがあります。

“おじさんのかさ”は、私と重なります。

絵本の中で

“あら、かさをさしたんですか、あめがふっているのに”
印象に残ります。

人との出会い、本との出会い、大切な事です。

内容のご紹介

りっぱなかさがぬれるのがいやで、かさをさそうとしないおじさん。ある雨の日、子どもたちの素敵な歌をきいたおじさんは、はじめてかさを広げてみました。すると…… 雨がふったらポンポロン。雨がふったらピッチャンチャン。雨の日におじさんが出会った素敵なできごと……

子どもにも大人にも大人気です。

作者は「100万回生きたねこ」でおなじみの佐野洋子さんです。「おじさんのかさ」も、ロングセラーの名作絵本として読まれています。

(矢祭もったいない図書館)